

提 供 日 2026/08/05
タイトル 国内初！奈良時代の正倉基壇の土層転写を特別公開します
担 当 スポーツ・文化観光部 静岡県埋蔵文化財センター調査課
連 絡 先 静岡県埋蔵文化財センター調査課
TEL 054-385-5500



国内初！奈良時代の正倉基壇の土層転写を特別公開します

静岡市清水区の尾羽廃寺跡（おばねはいじあと）で基壇（きだん：基礎）を備えた正倉（しょうそう）が発見されました。

このような特殊な構造を持つ正倉の発見は県内初であったことから、土層（地層）の転写（剥ぎ取り）を行い、ボランティアの協力を得て、展示・公開に向けた処理作業が令和8年7月に完了しました。

正倉基壇の土層転写としては国内唯一の貴重な資料であるため、夏期企画展で特別公開します。

1 夏期企画展「いほはらの郡衙（ぐんが）と古代寺院」

- ◆会場 静岡県埋蔵文化財センター（静岡市清水区蒲原 5300-5）
- ◆期間 令和8年8月15日（土）～9月19日（土）
（ただし、8月15日と9月19日を除き、土・日・祝日は見学できません）
- ◆時間 午前9時30分～午後4時30分
- ◆観覧料 無料

2 報道関係者対象の内覧会

一般公開に先立ち、次のとおり開催します。

- ◆日時 令和8年8月12日（水） 午後1時30分～
- ◆場所 静岡県埋蔵文化財センター（静岡市清水区蒲原 5300-5）

参加を希望される方は、別紙「取材申込書」を8月10日（月）正午までに3の間合せ先に提出してください（メール又はFAX）。

3 問合せ先

静岡県埋蔵文化財センター調査課

- ◆電話 054-385-5500
- ◆FAX 054-385-5506
- ◆E-mail maibun-tyosa@pref.shizuoka.lg.jp



申込期限 令和8年8月10日（月）正午

企画展「いほはらの郡衙と古代寺院」内覧会

取材申込書

貴社名			
取材者名	代表者		
	同行者		
連絡先電話番号			
メールアドレス			
人数（合計）	名（代表者様含む）		
テレビカメラの有無	あり（ 台） ・ なし		
駐車場の利用	あり ・ なし		

【申込先】

静岡県埋蔵文化財センター調査課

FAX：054-385-5506

E-mail：maibun-tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

令和8年度 夏期企画展

い
ほ
は
ら
の

郡衙と古代寺院

「飛鳥・藤原」の時代

遠く離れた駿河国廬原では――

国内初の資料！

正倉基壇の土層転写を特別公開します



尾羽廃寺跡 正倉基壇土層転写

【主な展示品】

- 正倉基壇土層転写（静岡市 尾羽廃寺跡）
- 木簡（静岡市 尾羽廃寺跡）
- 炭化米（静岡市 尾羽廃寺跡）
- 古代瓦（静岡市 尾羽廃寺跡、東山田古窯跡群）
- 墨書土器（浜松市 井通遺跡）

2026
8/15 **土** ▶ 9/19 **土**

土・日・祝日は休館日です。

ただし、8月15日（土）と9月19日（土）は開館します。

観覧
無料

会場

静岡県埋蔵文化財センター

静岡市清水区蒲原 5300-5

TEL 054-385-5500



参考資料

1 尾羽廃寺跡の発掘調査

尾羽廃寺跡は、静岡市清水区尾羽にある遺跡です。静岡県埋蔵文化財センターが、平成 28 年度から令和 2 年度に発掘調査を行いました。この調査で奈良時代の正倉（しょうそう）や木簡、炭化米などが発見され、古代寺院に隣接して、地方の役所である郡衙（ぐんが）が置かれていたことが明らかになりました。

2 基壇を備えた正倉

郡衙には、税として納められた米を保管するため、多くの正倉が建てられていました。このうち、土を高く盛って基壇（きだん：基礎）を築くなど、特殊な構造を持つ正倉は「法倉（ほうそう）」と呼ばれ、律令国家の権威を示すための特別な倉だったと考えられています。こうした基壇を備えた正倉が発見されたのは、静岡県内では尾羽廃寺跡が初めてです。

3 土層転写について

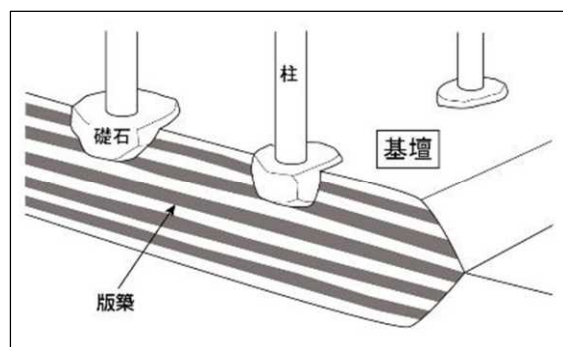
土層転写（地層の剥ぎ取り）は、遺跡の土層（地層）の表面を樹脂で固め、布などで裏打ちしてそのまま剥がし取る技術です。尾羽廃寺跡では、平成 30 年度の発掘調査で発見された奈良時代の正倉基壇の断面について、幅約 11m×高さ約 70cm の範囲の土層転写を行いました。この土層転写からは、当時最先端の工法であった「版築（はんちく）」により、土や砂を数 cm ずつ突き固めている様子が観察できます。正倉基壇の土層転写は、全国でも例がなく、尾羽廃寺跡の資料が国内唯一の貴重な資料です。



尾羽廃寺跡で発見された正倉
（現地調査の写真）



正倉基壇の土層転写



基壇の模式図